



ノダグループは、木を活用した心地よい空間づくりによって社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

代表取締役社長
野田 励

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第84期第2四半期連結累計期間(2020年12月～2021年5月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

2021年8月

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い都市部を中心に経済活動が引き続き一部制限されるなど、依然として厳しい状況が続きました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は昨年来の減少傾向からやや持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には至りませんでした。また、米国や中国における住宅需要拡大等に伴う世界的な木材の供給不足や価格高騰(いわゆる「ウッドショック」)の影響が春先から顕在化しており、先行きの不透明感は一層深刻となりました。

このような事業環境において当社グループは、建材製品やMDF(中質繊維板)のシェア拡大や国産針葉樹合板の活用推進、非住宅分野やリフォーム・リノベーション分野の市場開拓、抗ウイルス加工を施した製品の開発・拡販、ITの活用等による生産性向上など様々な施策に取り組み、収益力の向上やコスト競争力の強化に努めました。また、リモートでの営業活動等により、出張旅費や販促費などが減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高30,983百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益1,563百万円(同9.7%増)、経常利益1,738百万円(同18.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,051百万円(同30.3%増)となりました。

●セグメント状況●

<住宅建材事業>

「ビノイエ」「モードコレクト」など内装建材シリーズのシェ

ア拡大に引き続き取り組むとともに、「ラステックフェイスリッチ・Jベース」「Jネクシオ」など国産針葉樹合板とMDFの複合基材を使用したフロアの拡販に注力いたしました。また、SIAA認証の抗ウイルス加工を施した製品を新たに開発し、市場投入いたしました。

さらに、バリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」を足がかりに、高齢者施設や幼保施設など非住宅分野の開拓に取り組むとともに、マンションを中心にリフォーム・リノベーション需要の獲得にも努めました。

MDFについては、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用ハイベストウッド(HBW)や、昨年1月に出資した業務提携先のIFI社(インドネシア)製の輸入MDFの拡販に取り組みました。

また、生産面における内製化促進など各種コストダウン策や昨年4月の一部製品価格改定により、収益性の改善に一定の効果が表れました。

この結果、住宅建材事業の売上高は19,550百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は1,463百万円(同32.9%増)となりました。

<合板事業>

国産針葉樹合板は、本年3月に連結子会社石巻合板工業株式会社で発生した火災の影響から、生産量・販売量ともに減少いたしました。また、昨年後半から国内市場在庫が低水準で推移したことや、春先から顕在化したウッドショックの影響もあり、先高感から仮需を含む活発な市況へ展開したことから、販売価格は緩やかな上昇基調で推移しました。しかし、連結子会社の火災による生産量の減少に伴い製造コストが上昇し、利益を圧迫いたしました。

輸入南洋材合板は、インドネシアやマレーシアの感染拡大に伴う行動制限令やロックダウンが発令される深刻な状況もあり、生産現場において原木不足や人員不足により生産量が減少いたしました。さらに、米国における合板需要の高まりなどの影響もあり、産地価格は急激に上昇いたしました。そのため、供給不安から国内の販売価格も上昇いたしました。

この結果、合板事業の売上高は11,432百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益は873百万円(同18.8%減)となりました。

配当について

当期の中間配当金につきましては、これらの業績や配当の基本方針等を総合的に勘案し、1株につき12円50銭(前期の中間配当金と同額)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第84期第2四半期 営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】

社会に果たすべき使命
 ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
 ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】

理念実現のための共通の価値観
 共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



【ビジョン2030実現のための経営戦略】



【理念実現のための基本姿勢】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

木をムダなく使う技術を追求して
 持続可能な森林循環に貢献し、
 環境にやさしいエコ素材を活用したノダ製品が、
 SDGsの達成に貢献いたします。

私たちは、自らの事業を通じて、
 SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、
 グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを



目標11

「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任



目標12

「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を



目標13

「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう



目標15

「陸の豊かさも守ろう」

森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

環境への取り組み

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。

 木の伐採量を大幅に減らします。

製造工程



木質チップを木材繊維へ

加熱
圧縮



エコ素材MDF



構造用ハイベストウッド(MDF)施工例

地震に強い
壁倍率
4.0取得



2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成をめざし、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。

 日本の森林を保全し、CO₂吸収量を増やします。



Jネクシオ



国産針葉樹合板

3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果をもたらされます。

国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。

 木をムダ無く使い、健全な森林の整備に貢献します。



高性能林業機械ハーベスタによる間伐作業



適度な光が差し込み木々の健全な生育環境が保たれます

4. 植林木を使用

森林資源保護のため、スラインダーSPシリーズMSタイプ(自然塗装)、国産材大井川杉シリーズは植林木のみを使用しています。良質な木材資源が急速に減少する中、将来における木材産業の発展・維持のために再生可能な植林木を使用しています。

 循環型資源を活用し、環境を維持します。



国産材大井川杉シリーズ



スラインダーSPシリーズMSタイプ自然塗装

～HBW（構造用ハイベストウッド）～

優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDFにより、より快適な住まいを実現できます。

3つの特徴

- ①耐震性、耐久性向上（繰り返し地震に強い）
- ②抜群の施工性（断熱材を均一に取り付けられ、気密性アップ）
- ③優れた環境性（地球にやさしいエコ素材）

快適な住まいを実現！

HBW
構造用ハイベストウッド

繰り返し
地震に
強い！

耐震性能
シミュレーションソフト
「wallstat」に対応



～抗ウイルス加工フロア～

当社は複合フロアでSIAA（抗菌製品技術協議会）の抗ウイルス認証を取得し、販売しております。

複合フロアでは、高齢者施設向けからマンション用防音フロアまで幅広い製品に対応しており、より安全で安心できる住生活空間の実現に努めてまいります。

ラスティックフェイス
Rustic Face

Rich J-Base リッチ・Jベース（1本溝タイプ）
J-Base Jベース（2本溝タイプ）

N E X I O

衝撃吸収フロア ネクシオ



J N E X I O
Jネクシオ

ネクシオウォークフィット
N E X I O W A L K F I T
ネクシオ ウォークフィット45【防音フロア】

ラスティックフェイス
Rustic Face

Rich J-Base リッチ・Jベース（1本溝タイプ）



N E X I O

衝撃吸収フロア ネクシオ



連結財務諸表(要旨)

会社概要・株式情報 (2021年5月31日現在)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第84期 第2四半期末 2021年5月31日現在	第83期 前期末 2020年11月30日現在
資産の部		
流動資産	38,439	36,450
固定資産	22,326	22,146
有形固定資産	13,426	13,767
無形固定資産	671	557
投資その他の資産	8,228	7,821
資産合計	60,765	58,596
負債の部		
流動負債	20,309	18,867
固定負債	8,707	9,212
負債合計	29,016	28,079
純資産の部		
株主資本	28,987	28,138
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	25,682	24,833
自己株式	△ 423	△ 423
その他の包括利益累計額	△ 429	△ 707
非支配株主持分	3,191	3,084
純資産合計	31,749	30,516
負債純資産合計	60,765	58,596

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第84期 第2四半期累計期間 2020年12月1日から 2021年5月31日まで	第83期 第2四半期累計期間 2019年12月1日から 2020年5月31日まで
売上高	30,983	31,144
売上原価	23,444	23,640
売上総利益	7,538	7,503
販売費及び一般管理費	5,975	6,078
営業利益	1,563	1,425
営業外収益	267	116
営業外費用	93	76
経常利益	1,738	1,465
特別利益	24	—
特別損失	104	130
税金等調整前四半期純利益	1,657	1,334
法人税、住民税及び事業税	538	344
法人税等調整額	△ 55	39
四半期純利益	1,174	950
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,051	807

会社の概況

会社名 株式会社ノダ
 本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
 設立 1938年1月8日
 資本金 21億4,100万円
 従業員数 1,005名(連結1,789名)

役員

代表取締役会長 野田 章三 取締役 良知 正啓
 代表取締役社長 野田 励 社外取締役 塩坂 健
 常務取締役 島村 明 社外取締役 高井 章光
 常務取締役 高津原健太郎 常勤監査役(社外) 浦田 進
 常務取締役 野田 四郎 常勤監査役 長谷川倫源
 常務取締役 中村 嘉宏 社外監査役 三浦 悟
 常務取締役 辻村 力 監査役 上原 敏彦
 取締役 宮田 佳明

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、信越(新潟市)、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫四国(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

石巻合板工業株式会社 : 宮城県石巻市
 アドン株式会社 : 静岡県静岡市
 株式会社ナフィックス : 東京都台東区
 アイピーエムサービス株式会社 : 宮城県石巻市
 PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社)
 : インドネシア

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社)
 : マレーシア

株式の状況

発行済株式の総数 17,339千株(自己株式1,054千株を含む)
 株主数 2,311名



株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
 定時株主総会 2月
 基準日 定時株主総会 11月30日
 期末配当金 11月30日
 中間配当金 5月31日
 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

- 証券会社等へ当社株式を預けたいしている場合
 当社株式をお預けしたいしている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。
- 証券会社等へ当社株式をお預けしていない場合(特別口座)
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先/電話お問合せ先)
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
 (お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)
 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
 (※)トラストラウンジではお取扱できません。

ホームページ、公式SNSのご案内
 ノダの最新情報やお役立ち情報をご提供します

公式Facebook [http://www.noda-co.jp](https://www.facebook.com/NODACorporation/) 公式Instagram

ネット検索は...
 ノダ 検索

Facebook : <https://www.facebook.com/NODACorporation/>
 Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/



環境保全のため、FSC® 認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。